

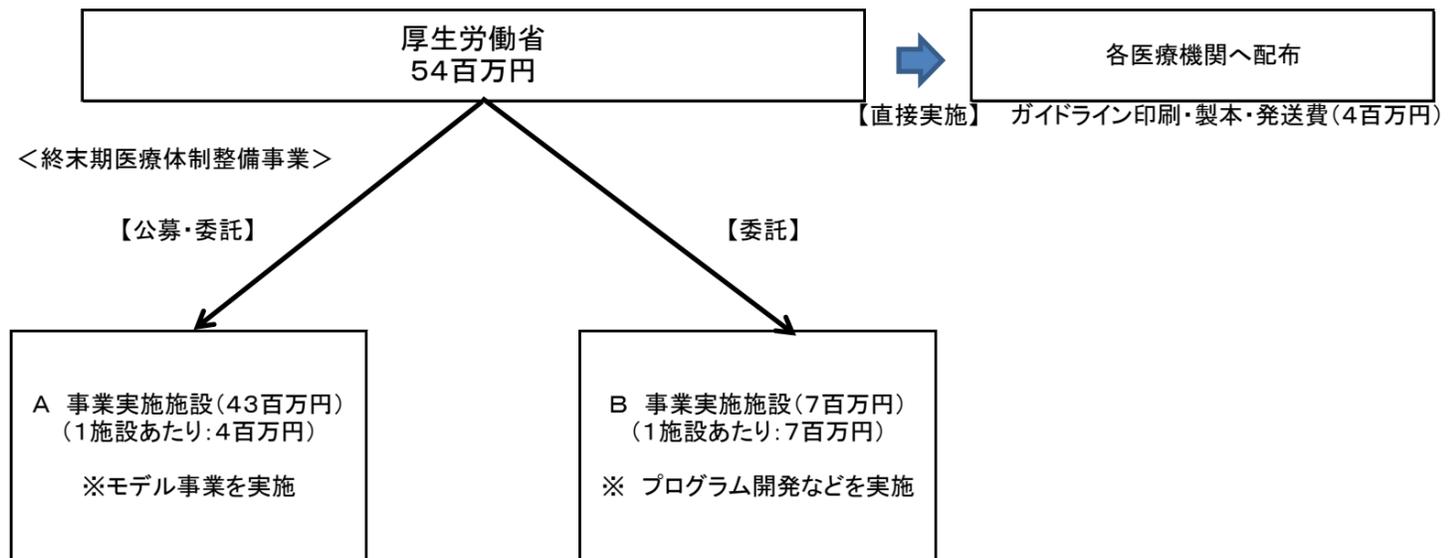
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	終末期医療体制整備等事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	指導課		室長:佐々木昌弘		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成19年5月21日医政発第0521011号「終末期医療の決定プロセスに関するガイドラインについて」等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	終末期医療については、医療従事者から適切な情報提供と説明がなされた上で、患者が医療従事者と話し合いを行い、患者本人による決定を基本とすることから、患者の意思を尊重した終末期医療を実現する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	終末期医療のガイドラインを周知するとともに、医療機関における終末期医療に関する相談支援員の配置や、困難事例の相談などを行うための複数の専門職種からなる委員会の設置などに必要な支援について、先行して10医療機関において行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算					54	
		補正予算						
		繰越し等						
	計						54	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	終末期医療相談支援員数	成果実績	人					
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	終末期医療に関する相談件数	活動実績(当初見込み)	件					
		算出根拠						
単位当たりコスト								
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	衛生関係指導者養成等委託費	-	50	-				
	庁費	-	4					
計	-	54						

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	国民の約7割が事前に終末期医療における医療の希望を書面で示す考え方に賛成しているところであるが、実際に作成している人は1割に満たないアンケート結果が出ており、国民のニーズは高いことから、当該事業を実施することにより、全国において患者の意思が尊重される終末期医療の体制整備の充実を図るためにも国費の投入が必要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国民の希望に応えるためにも、モデル事業を実施し、その結果を踏まえ、全国において患者の意思が尊重される終末期医療の体制整備の充実を図ることから、国の施策として実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	「社会保障制度改革国民会議」において、「人生の最終段階を穏やかに過ごすことができる環境を整備すること」が求められており、個人の尊厳が重んじられ、患者の意思が尊重される終末期医療の体制整備の整備を図ることが非常に重要であるため、国の支援が必要であり、優先度の高い事業である。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	単位当たりコストの水準は妥当か。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点 検 結 果	新規事業として、平成26年度概算要求				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	終末期医療体制整備等事業については、患者の意思を尊重した終末期医療を実現するための支援を行うものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					